

## 24 音楽専攻科

平成31(2019)年度入学

### 音楽専攻科 人材養成目的

本学の音楽専攻科は、音楽学部で修得した技術、知識を基礎として、より高度な技術と音楽の専門知識を有する人材を育てる。

音楽専攻科	器楽専攻
ディプロマポリシー	高度な技術と幅広い教養を身につけ、楽曲を論理的に解釈できるようになるとともに、ソロとアンサンブルの形態で演奏表現できるようになる。
カリキュラムポリシー	より高度な技術の修得、また音楽的教養を高めて表現力の向上を目指す。ソロとアンサンブルの形態により専攻実技を中心に専門技術を修得する。また楽曲分析を通じて音楽作品に対する解釈を深める。

- ◎ 以下の教育課程から必修・選択あわせて**30単位**以上を修得しなければならない。
- ◎ 試験に関する注意事項、受験資格等について、必ず13ページ以降を参照のこと。

器楽専攻	必修				選択							
	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職
ピアノ	器楽実習(ピアノ)	9		○	声楽Ⅱ	3	A	○	ピアノ指導法	4		○
	アンサンブル特殊研究	2		○	歌曲研究Ⅰ	4		○	演奏解釈法	4		
	楽曲分析	4		○	歌曲研究Ⅱ	4		○	西洋音楽史特論	4		○
	室内楽実習	2			歌曲研究Ⅲ	4		○	即興演奏	2		○
					詩と音楽Ⅰ	2※		○	ヨーロッパ社会と芸術	3	B	
				詩と音楽Ⅱ	2※		○	合奏Ⅳ	2			

器楽専攻	必修				選択								
	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職	
弦管打	器楽実習(弦・管・打)	9			室内楽実習	2			即興演奏	2		○	
	合奏	4			合奏Ⅲ	2	C		音楽指導論講義	2※	A	○	
	楽曲分析	4		○	声楽Ⅱ	3	A	○	作品研究講義Ⅰ	2※	A	○	
					ピアノⅡ	3		○	作品研究講義Ⅱ	2※	A	○	
					詩と音楽Ⅰ	2※		○	作品研究講義Ⅲ	2※	A	○	
					詩と音楽Ⅱ	2※		○	作品研究講義Ⅳ	2※	A	○	
					演奏解釈法	4			ヨーロッパ社会と芸術	3	B		
					西洋音楽史特論	4		○					

器楽専攻	必修				選択							
	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職
オルガン	器楽実習(オルガン)	9			ピアノⅡ	3			音楽指導論講義	2※	A	
	アンサンブル特殊研究	2			詩と音楽Ⅰ	2※			作品研究講義Ⅰ	2※	A	
	合奏	4			詩と音楽Ⅱ	2※			作品研究講義Ⅱ	2※	A	
	楽曲分析	4			演奏解釈法	4			作品研究講義Ⅲ	2※	A	
					西洋音楽史特論	4			作品研究講義Ⅳ	2※	A	
					即興演奏	2			ヨーロッパ社会と芸術	3	B	

器楽専攻	必修				選択							
	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職
電子オルガン	器楽実習(電子オルガン)	9			ピアノⅡ	3			音楽指導論講義	2※	A	
	アンサンブル	2			詩と音楽Ⅰ	2※			作品研究講義Ⅰ	2※	A	
	電子楽器特論	2			詩と音楽Ⅱ	2※			作品研究講義Ⅱ	2※	A	
	電子楽器特殊研究	2			演奏解釈法	4			作品研究講義Ⅲ	2※	A	
	楽曲分析	4			西洋音楽史特論	4			作品研究講義Ⅳ	2※	A	
					即興演奏	2			ヨーロッパ社会と芸術	3	B	
				合奏Ⅳ	2							

#### 【上表中の注意事項】

- A 教職専修免許状取得希望者のみ履修可
  - B 参加人数によっては中止となる可能性があるため、この科目を履修する場合は選択科目を多めに履修しておくこと。
  - C 指定された者のみ履修可
  - 専修免許状取得希望者(一種免許状所持者に限る)は教職欄に○印が付いている科目の中から24単位以上修得すること。併せて、別冊子「教職課程ハンドブック」も確認すること。
- オルガン、電子オルガン専攻者は教職専修免許状は取得できない。

音楽専攻科	声楽専攻
ディプロマポリシー	高度なベルカントの技術と幅広い教養を身につけ、楽曲を論理的に解釈できるようになる。また、日本歌曲、ドイツ歌曲、イタリア近代歌曲を演奏表現できるようになる。
カリキュラムポリシー	高度なベルカント唱法の技術の向上、また音楽的教養を高めて表現力の向上を目指す。歌曲研究ⅠⅡⅢにおいて、日本、ドイツ、イタリア近代歌曲を学び、幅広い歌曲のレパートリーから個々の分野の歌唱法を修得する。また楽曲分析を通じて音楽作品に対する解釈を深める。

- ◎ 以下の教育課程から必修・選択あわせて**30単位**以上を修得しなければならない。
- ◎ 試験に関する注意事項、受験資格等について、必ず13ページを参照のこと。

声楽専攻	必修				選択			
	科目名	単位	注意	教職	科目名	単位	注意	教職
声楽	声楽実習	6		○	ピアノⅡ	3		○
	歌曲研究Ⅰ	4		○	詩と音楽Ⅰ	2※		○
	歌曲研究Ⅱ	4		○	詩と音楽Ⅱ	2※		○
	歌曲研究Ⅲ	4		○	西洋音楽史特論	4		○
	楽曲分析	4		○	即興演奏	2		○
				ヨーロッパ社会と芸術	3	A		

【表中の注意事項】

- A 参加人数によっては中止となる可能性があるため、この科目を履修する場合は選択科目を多めに履修登録しておくこと。
- 専修免許状取得希望者は教職欄に○印が付いている科目の中から24単位以上修得すること。